

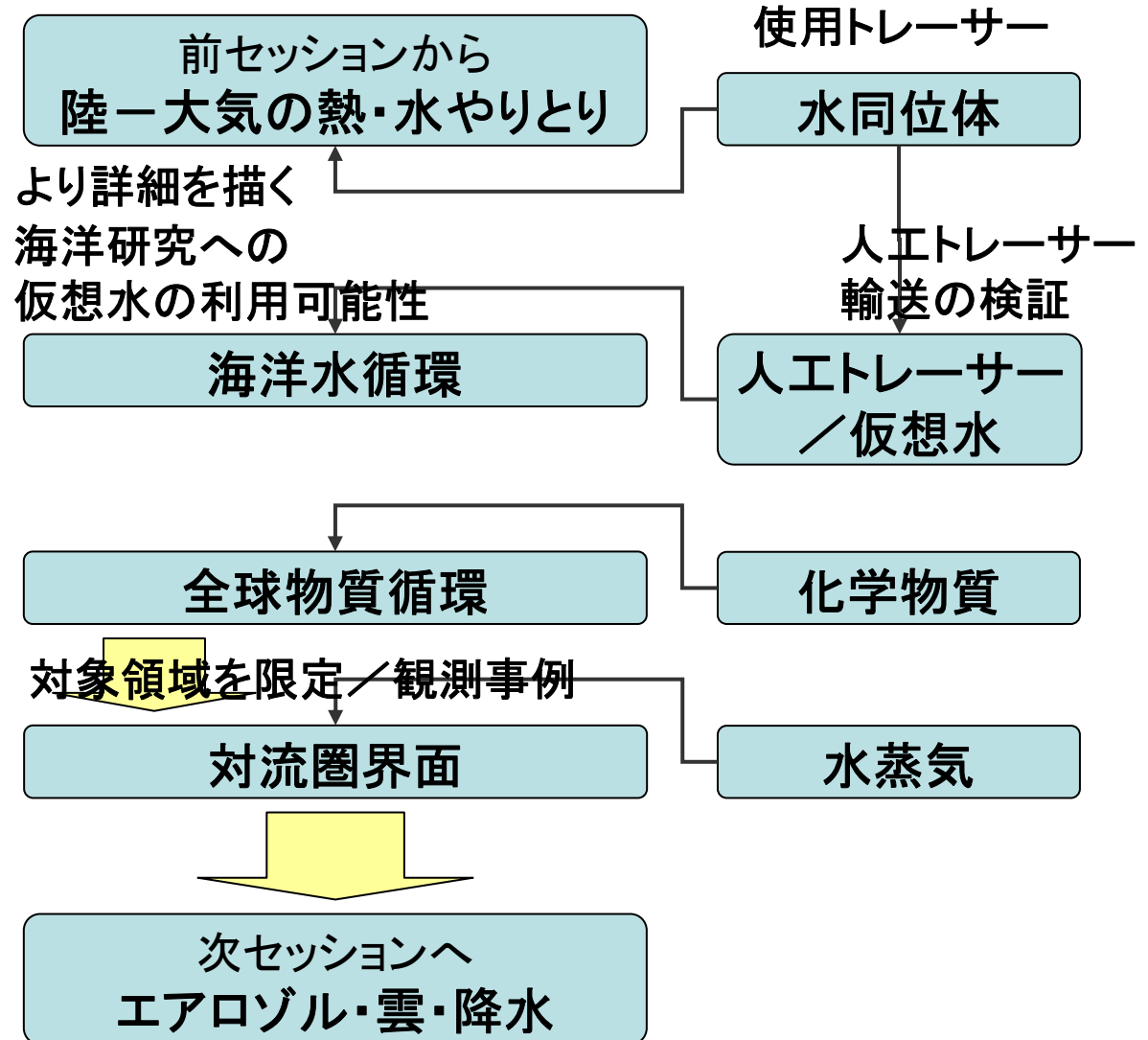
ラグランジュ的水・物質循環 セッション総括(芳村圭)

栗田直幸
安定同位体を用いた大陸水循環研究

河宮未知生
仮想水トレーサーを用いた海洋研究

須藤健吾
化学物質をもちいた大気輸送過程

藤原正智
対流圏界面における水蒸気輸送過程



ラグランジュ的水循環研究今後の展開

～ある楽観主義人間の雑感～

- いろんな物質をモデルにどんどん入れていきましょう。
 - 濃度そのものが直接的に意味を持つもの(e.g.ケミカル)
 - 間接的に意味を持つもの(e.g.安定同位体)
 - その他
 - 面白い変化をモデルで予想→そして観測→理解→またモデリング。(順序は入れ替わっても良い。)
 - そして、様々な素過程モデリングの改善点を提言していきたい。
 - また、プロキシ情報としての利用法を整理していきたい。
- しかし・・・
- Unknownを増やしている、トレーサーを合わす為のモデリングになりがち、という指摘に対してどう戦うか。
 - ➔物質自身の挙動をさらに詳細に定量的に解明する。
 - 一どの条件がどのように効くのか。その結果どのような濃度が発現するのか。
 - 好奇心旺盛で『まっとうな』素過程研究者とのコラボが大事。(後部座席理論！？)